

## 超電導リニアの磁界測定データについて

平成 25 年 12 月 11 日  
東海旅客鉄道株式会社

超電導リニア特有の事項である磁界に関しては、方法書の説明会及び準備書の説明会に加えて、法の定めとは別に平成 24 年 5 月から 9 月、平成 25 年 5 月から 7 月に開催した各都県での計画説明会、更には当社ホームページ上など、あらゆる機会を通じて、図や数値などを用いて詳細に説明して参りました。

今回、改めて磁界データを実際にご確認して頂ける場として、山梨リニア実験線における測定作業を 12 月 5 日にご覧いただきました。

磁界測定の概要については、以下の通りです。

○日 時：平成 25 年 12 月 5 日（木） 9：00～17：00

○場 所：山梨リニア実験センター（都留市）、沿線（都留市、大月市）

○ご確認頂いた事項（測定データの詳細は別紙をご参照下さい）

- ・沿線（測定地点Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ～Ⅵ）、乗降装置及び車内（測定地点Ⅲ）のいずれの測定地点においても、測定した磁界の値は ICNIRP ガイドライン\*を大幅に下回っていることをご確認頂きました。また、静磁界については「植込み型心臓ペースメーカー等承認基準」\*の 1 mT 以下であることをご確認頂きました。
- ・大深度地下トンネルを模擬した、トンネル上部の土被りが 37 m の測定地点では、測定された変動磁界の値は地磁気の大きさの約 0.5 % であり、全く問題ないレベルであることをご確認頂きました。
- ・環境影響評価準備書の測定点 1（超電導磁石から水平 6m）、測定点 2（高架下 8m）の予測値・実測値、環境影響評価準備書（山梨県）の予測地点 02（高架橋高さ約 25m）、03（高架橋高さ約 5m）の予測値に対し、今回の測定値は同等であり、これまでのご説明の内容通りであることを改めてご確認頂きました。
- ・当社の測定方法が国際基準に則った適切なものであることを、電磁気学の専門家にご確認頂きました。

\*参考資料 1 「磁界に係る法令等及び当社の考え方」 1. (2) (4) 参照